

・講演 「福祉職のためのマインドフルネス」
講師 関西学院大学 教授 池埜 聡 氏
プロフィール

関西学院大学人間福祉学部 社会福祉学科 教授臨床ソーシャルワーク、トラウマ学 (traumatology)、マインドフルネス、援助関係教育研究内容
犯罪被害、災害、戦争、虐待など、外傷性ストレスを受けた人々に対する支援の充実を目指した「トラウマ被害の科学的理解にもとづくソーシャルワーク (Trauma-informed Social Work)」の構築を臨床・研究双方から目指す。

午後 利用者のウェルビーイング

・講演 「知的障害のある利用者の高齢化予防」
講師 スタジオユウ 理学療法士 福田 裕子 氏
プロフィール

シニア向け健康運動プログラム10秒ポーズ®を考案。京都大学医療技術短期大学部理学療法学科卒。放送大学教養学部（発達と教育専攻）卒。理学療法士（PT）。趣味は雪と渓谷の山歩き。福井県の労働災害防止や中小企業の健康経営支援に携わる。こども園でも10秒ポーズ活用が広がっており、老若男女、時間と場所を選ばず導入可能なプログラムに注力。「一家、一社に、一PT」をめざして活動中。福井県鯖江市在住。理学療法士歴30年・介護支援専門員歴3年。介護認定審査会委員5期。

第5分科会

コミュニティ ウェルビーイングについて
○テーマ 「互いに支え合う実践を学び、
未来志向の視点で共生社会の実現を考える」
～楽しみは みんなで支え合う地域を感じられしとき～

○趣 旨
地域共生社会と地域づくりをテーマに、午前の部では「ごちゃまぜ世界の進化と発展」、更に、能登半島震災直後から被災地域への支援活動や復興活動の実際も交え、様々な角度から「地域共生社会の本質」についてお話しを伺います。また、午後の部では、我が国における「社会福祉の父」といわれた糸賀一雄氏の価値を受け継ぎ、発展し続けられている「滋賀県での地域づくりの実践」について学びます。また、主体的な学び（グループワーク）にご参加いただき「（ご自身の）地域づくり実践への気づき」に繋いでまいりましょう。

○スケジュールと内容

午前 利用者のウェルビーイング

〈実践報告〉
社会福祉法人 佛子園 理事長 雄谷 良成 氏
プロフィール

大きく「社会福祉法人佛子園」の理事長、「公益社団法人青年海外協力協会」会長、「日蓮宗晋香山蓮昌寺」の住職という3つの職務があります。佛子園では「高齢」「障害」「児童」の領域でさまざまな社会福祉事業を行っており、地域コミュニティ拠点を設置し「さまざまな人が働き、その生活する町の運営にも参画。地域住民の皆さんが共存する町づくり」に取り組まれています。また、輪島市の活性化、町おこしなども手がけ「誰もが楽しく生き生きと暮らせる町づくり」を目指されている。

〈進行・コーディネーター〉

富山国際大学 こども育成学部 教授 村上 満 氏
プロフィール

早稲田大学人間科学部人間健康科学科卒、富山医科薬科大学大学院医学系研究科修士課程修了（看護学修士）、富山大学大学院生命融合科学教育部博士課程単位取得満期退学
社会福祉士、精神保健福祉士、現在、富山国際大学こども育成学部教授

午後 職員のウェルビーイング

・講演 「地域づくり実践への気づき」
講師 社会福祉法人グロー 法人事務局福祉事業部長
滋賀県自立支援協議会事務局 事務局長
大平 眞太郎 氏

プロフィール

2001年（社福）びわこ学園入職。重度知的障害者への直接支援、相談支援業務に従事。2011年（社福）滋賀県社会福祉事業団（現・グロー）入職。2016年厚生労働省障害福祉課・相談支援専門官、2019年滋賀県障害福祉課・障害福祉専門幹。2023年より現職。また、特定非営利法人日本相談支援専門員協会 副代表理事、令和6年度相談支援従事指導者（国）研修「地域づくりコース」統括講師など活動は多岐にわたる。

・グループワーク、全体共有、総括
数グループからグループワークで話し合った内容や「地域づくり実践」に関する気づきについて全体共有をし、第5分科会を総括します。
〈進行・コーディネーター〉
長野大学社会福祉学部 准教授 相馬 大祐 氏
プロフィール

東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部研究員、福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科 准教授、現在 長野大学社会福祉学部 准教授

〈助言者〉社会福祉法人グロー 法人事務局福祉事業部長
滋賀県自立支援協議会事務局 事務局長 大平 眞太郎 氏

閉 会 式

15:30～15:45
閉会式（各分科会会場をオンラインでつなぎます）

参加各種お申込み／宿泊に関するお問い合わせ

<https://x.gd/Ve8zX>



https://drive.google.com/file/d/1HpklFyUKEFrwD763k7m4U_kb2meCO8RE/view?usp=sharing



㈱福井観光トラベルサービス 担当：加藤・品田
〒910-0065 福井県福井市八ツ島町 31-402
電話 0776-28-1888 FAX 0776-24-1888

大会に関する内容について

https://drive.google.com/file/d/1rAzf-V2o1hiJBcn_rHTh2O0qirlcvXt6/view?usp=sharing



大会に関するお問い合わせ先

全国知的障害福祉関係職員研究大会
福井大会事務局 担当：嶋田・南北
〒910-0026 福井県福井市光陽2丁目3-2
（福井県社会福祉センター3階）
電話 0776-63-5099 / 070-5147-5601
FAX 0776-63-5705
メール f-titeki@e-selp.org



全国知的障害福祉関係職員研究大会 第60回 福井大会

開催日
令和6年 10月3日(木)～
10月4日(金)

会場

第1日目 メイン会場 ― 福井市フェニックスプラザ
情報交換会 ― ザ・グランユアーズフクイ天山の間
第2日目 分科会 ― ザ・グランユアーズ、ハピリン、
アオッサ県民交流ホール、国際交流会館等

主催
公益財団法人日本知的障害者福祉協会
北陸地区知的障害者福祉協会
一般社団法人福井県知的障害者福祉協会

今こそ学び、
語り合い、
深めよう、
「私たちの
ウェルビーイング」
楽しみは○○のとき



【大会趣旨】

新型コロナウイルスの猛威に振り回されたあっという間の3年間、その間にも私たちを取り巻く外的環境は、国際社会の不安定な動向や自然災害の増加、チャット GPT をはじめとするデジタル技術の急激な進展など、目まぐるしく変化をし続けています。また貧困や差別、社会的孤立等、人と人とのつながりの分断が深刻化する一方、SDGs が唱えられ、地球レベルで調和やよりよい社会づくりをめざそうとする新たな動きも活発化しています。

こうした予測不可能な時代をどう生き、どう利用者の支援につなげていくべきか？私たちは、近年社会的関心が高まっている「ウェルビーイング」に着目しました。幕末の歌人橘曙覧（たちばなのあけみ）は、日常生活を題材に「楽しみは」で始まり「〇〇のとき」で終わる形式で詠んだ和歌を多く作り、後世の歌壇に大きな影響を与えました。今こそ、利用者や働く職員一人ひとりの幸せ、社会全体の幸せについて、様々な観点から考え、語り合い、深めていく機会が必要ではないでしょうか？

本大会は、橘曙覧の出身地でもある福井の地で、皆さんと「ウェルビーイング」を追求する2日間となることを目的として開催します。

＊【橘曙覧（たちばなのあけみ）】
幕末福井の歌人。清貧な暮らしの中で、日常生活を題材に、身近な言葉で詠むというスタイルを貫きました。1994(平成6)年6月13日、上皇上皇后両陛下のアメリカ訪問の際、歓迎式典でクリントン大統領が曙覧の代表策「独楽吟」から「楽しみは 朝おきいでて昨日まで 無かりし花の 咲ける見るとき」という歌を紹介したことで脚光を浴びました。

全 体 会

【日程および内容】

第1日目(10月3日)
会 場 福井市フェニックスプラザ
12:00～13:00 受付
13:00～14:00 開会式・表彰式
14:00～15:00 行政説明 厚生労働省
15:00～15:20 休憩
15:20～17:00 基調講演 テーマ「自立とは」
熊谷 晋一郎 氏
(東京大学先端科学技術研究センター教授)
当事者研究、小児科医

山口県新南陽市生まれ。新生児仮死の後遺症で脳性麻痺となり、車椅子生活を送る。小学校・中学校と普通学校で統合教育を経験し、山口県立徳山高等学校、東京大学医学部医学科を卒業。小児科医として病院勤務を経て2015年より現職。

18:30～20:30 情報交換会
会 場 ザ・グランユアーズフクイ 天山の間
アトラクション「チアダン」のモデルとなった福井商業高校チアリーダー部 JETS の OG メンバーによるチアリーディング



一乗谷朝倉氏遺跡



東尋坊

分 科 会

【日程および内容】

第2日目(10月4日)
9:00～9:30 各会場で受付
9:30～15:30 分科会
各分科会においてウェルビーイングを5つの要素に分けました。それぞれの分科会の利用者にとって・職員にとってのそれぞれの観点から深掘りをしていきます。

第1分科会

キャリア ウェルビーイングについて

○テーマ 障害のある人もない人も共に幸せに生きるための視点を語り合おう！
～楽しみは願いの先に小さい光見えしとき～

○趣 旨

私たち障害者福祉に携わる現場の職員は、障害のある人たちの幸せを願いながらその支援に日々奮闘努力を重ねています。しかしながら、サービスや社会資源の不足やまだまだ選択肢がとても少ない中で、「本人さんはどう思っているのか」ハタと思い悩むこともあるのではないのでしょうか。そこで、障害のある人たちが「人生の主人公」として生きてきた「成長・発達」の「物語」を聞きみんなで共有したいと考えています。そして、「私らしく」（意思決定支援）生きるために大切な視点をみんなで学んでいきましょう。また、「職員」として、なぜこの仕事を選んだのか、なぜ続けて来られたのか、どんな壁にぶつかっているのか、職員の「働きがい」についても報告してもらい、障害のある方と私たち職員の「幸せ」を重ねて捉え、私たち自身の支援のあり方を見つめ直しましょう。

○スケジュールと内容

午前 利用者のウェルビーイング
・実践報告「私らしく生きる」
① 障害の重い人の働く・暮らす・余暇の実践報告（表現活動を通して「自己実現」を）
パネリスト
愛知県 社会福祉法人 さふらん会
さふらん生活園 施設長 水上 明彦 氏
②「自分の人生を自分の力で選べるように」
滋賀県 社会福祉法人 蒲生野会
プリズムカレッジ 課長 森内 真理 氏
③暮らしの場をつくり上げる（多様な暮らし方の保障「一人暮らし」「二人暮らし」）
千葉県旭市 社会福祉法人 ロザリオの聖母会
「ナザレの家あさひ」 所長 荒井 隆一 氏
・講演「基調講演「私らしく生きる」
～意思決定支援を通して」
講師 淑徳大学 副学長 地域共生センター長 教授 鈴木 敏彦 氏
プロフィール

社会福祉士。淑徳大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了、プリーストル大学大学院 School for Policy Studies (英国) 研究生修了。和泉短期大学教授を経て現職。現在、神奈川県障害者自立支援協議会会長、神奈川県意思決定支援専門アドバイザー、社会福祉士国家試験委員等を務める。福祉サービス利用者の権利擁護（障害児・者の意思決定支援、虐待防止、差別解消等）の研究に従事するとともに、津久井やまゆり園利用者に対する意思決定支援に携わり、現在は障害児・者への意思決定支援の全国での展開に尽力している。

午後 職員のウェルビーイング
・職員の「働きがい」について実践報告
私らしく働く「障害のある人たちと出会う」（新人職員として）
福井県 社会福祉法人 敬仁会 野坂の郷 中村 潤美 氏
私らしく働く「自分の生き方と重ねて」（管理者の立場から）

千葉県 社会福祉法人 ロザリオの聖母会
「ナザレの家あさひ」 所長 荒井 隆一 氏
・パネルディスカッション
「私らしく生きる」を障害福祉の現場から
～障害のある人もない人も共に幸せに生きるための視点を語り合おう！～
コーディネーター 鈴木敏彦 氏
さふらん生活園 水上 明彦 氏
プリズムカレッジ 森内 真理 氏
ナザレの家あさひ 荒井 隆一 氏
野坂の郷 中村 潤美 氏

第2分科会

ソーシャル ウェルビーイングについて

○テーマ 「ひとりにしない、ひとりでしない」
～楽しみは、だれもが社会で、
だれかとつながりしとき～

○趣 旨

現代社会において、親からの養育を十分に受けることができない子どもや障害特性から支援が必要な人たちは、日々困難さを抱えながら、しばしば社会から孤立してしまうことがあります。また、わたしたち支援者も、支援をしている職場で、つながりやチームで働くことのたのしみを実感できないことがあるかもしれません。人と人との結びつき、つながることで豊かになる、「Social well-being」について、考えてみましょう。

○スケジュールと内容

午前 利用者のウェルビーイング
・講演「愛着と発達を軸に理解を深め、つなげる支援を考えよう」
講師 和歌山大学 教授 米澤 好史 氏
プロフィール

乳幼児～老年期の学習・発達・教育・認知・感情・思考・行動・心の問題等の理解と心理学的支援のあり方を主な研究テーマとし、臨床発達心理士スーパーバイザー・学校心理士スーパーバイザー・上級教育カウンセラー・ガイダンスカウンセラー等の資格を所持。保育・教育・福祉現場での学習支援、発達支援に従事するとともに、保育・教育・福祉関係者から保護者まで、幅広い層を対象とした数々の講演会で講師としての実績も豊富に持つ。

午後 職員のウェルビーイング
・講演「全てのチームが、これで変わる
～チームで働くことをもっと楽しむために～」
講師 社会福祉法人フラット 立松 和樹 氏
プロフィール

慶應義塾大学卒業後、株式会社リンクアンドモチベーションに入社。成長ベンチャー企業／中堅企業向けの組織人事コンサルティングに従事。様々な組織領域のプロジェクトを経験。その後、Deloitte Tohmatsu Financial Advisory LLCに入社。プライム上場企業に対する組織人事コンサルティングに従事。ホールディングス化、子会社設立等のピクイクイベントに係る組織人事戦略の策定等を経験。昨年度より、社会福祉法人フラットにて就労支援 A 型の事業責任者及び人事責任者を担う。

第3分科会

フィナンシャル ウェルビーイングについて

○テーマ 「働くことのやりがいや楽しみを
みんなで再発見しよう」
～楽しみは働くみんなの笑顔あふれ見るとき～

○趣 旨

GDP世界4位の経済大国でありながら、国連が発表する世界幸福度ランキングでは51位の日本。その要因には「働き方」の問題も大きく関係していると言われています。そこで、働くということをフィ

ナンシャル・ウェルビーイングの視点で皆さんと考えていきましょう。
【利用者】利用者さんにとって「働くことの幸せとは何か。」を考え、今後の支援で必要な知識や技術を磨ききっかけを得る機会といたしましょう。
【職 員】自分の「仕事」と「幸せ」を考え直してみよう。仕事における幸せとは何かを講義やグループワークを通して改めて見つめなおす機会にいたしましょう。

○スケジュールと内容

午前 利用者のウェルビーイング
・講演「わたしたちの Well-being（ウェルビーイング）を観じる」
～ニューロマイノリティ（障がい者等）は
チームの環境因子が大切～
講師 INSUS（インサス）株式会社
代表取締役 飯塚 誠 氏
プロフィール

INSUS（インサス）株式会社 代表取締役 2021年12月九州工業大学大学院生命体工学研究科博士後期を修了し、「就労している知的障がい者の主観的幸福度測定法に関する研究」にて博士（学術）を取得。言語表出が困難な重度知的障がい者のウェルビーイング(幸福度)測定法や障がい者雇用を促進するためのウェルビーイング(幸福度)向上のための組織行動論、及び環境分野と福祉分野の融合領域（環境連携や環境福祉学）を研究している。

午後 職員のウェルビーイング
・講演「仕事に専念するために、
今と未来のお金の不安を解消しよう
～フィナンシャル・ウェルビーイングと
金融リテラシー～」
講師 フィナンシャルプランナー 山崎 俊輔 氏
プロフィール

1995年中央大学法律学部法律学科卒業 株式会社企業年金研究所入社。2000年株式会社FP総研入社、2001年独立。「幸せとお金の関係をマシメに考えるFP」としてマネーに関する執筆、講演の活動に取り組んでいる。日経新聞電子版、Yahoo!ニュース、PRESIDENT オンラインなど連載多数。近者に「フィナンシャル・ウェルビーイング」がある。

第4分科会

フィジカル ウェルビーイングについて

○テーマ 「今のため、これからのために・・・
みんなの健康を考える」
～楽しみは心も体も健やかに整い
生を感じられしとき～

○趣 旨

「福祉職のマインドフルネス」
人材不足等により職員間のコミュニケーションが不足している・利用者の生活や将来を支えているが自分は二の次でセルフケアがおろそかになりがち・守秘義務があり親しい人に仕事の悩みをなかなか話せない・メンタルの不調による退職者が増えている・・・このように福祉の現場はストレスのかかりやすい傾向にあるため、様々な癒しやストレスケアに関する理解が必要となっている。瞑想法を用いたストレス解消法として医療・教育・スポーツの現場や企業等で幅広く実践されている「マインドフルネス」について学ぶ機会にいたしましょう。
「知的障害のある利用者の高齢化予防」
高齢化予防についての研修（体力維持・健康維持）
見てまねをするだけででき、老若男女誰でも無理なく運動習慣に取り組める「10秒ポーズ健康法」の講義と実技、
高齢者フレイル予防のポイントなど、リハビリや運動療法の基礎を学びましょう。

○スケジュールと内容

午前 職員のウェルビーイング